

答え合わせ・解説

問1	答え 3 人	「情けは人のためならず」の「人」の部分が入ります。意味は「人に親切にすれば、巡り巡って自分に良い報いが返ってくる」です。
問2	答え 2 提灯	「月夜に提灯」の「提灯」の部分が入ります。意味は「明るい月夜に提灯を下げても無駄であるように、不必要なことのたとえ」です。
問3	答え 3 どんな大きな物事も、まずは小さな一歩から始まるということ	「千里の道も一歩から」は「どんな大きな物事も、まずは小さな一歩から始まるということ」という意味です。
問4	答え 3 狭い世界に閉じこもっていると、世の中の広さを知らないままになる	「井の中の蛙大海を知らず」は「狭い世界に閉じこもっていると、世の中の広さを知らないままになる」という意味です。
問5	答え 1 災いの元	「口は災いの元」の続きは「災いの元」です。意味は「うっかり言った一言が原因で、大きな失敗や災難を招くことがある」です。
問6	答え 1 猿	「猿も木から落ちる」の「猿」の部分が入ります。意味は「その道に優れた名人でも、時には失敗することがある」です。
問7	答え 2 三文の徳	「早起きは三文の徳」の続きは「三文の徳」です。意味は「朝早く起きると、健康によかったり少しだけ良いことがあるということ」です。
問8	答え 1 その道の達人であっても、時には失敗することがあるということ	「弘法も筆の誤り」は「その道の達人であっても、時には失敗することがあるということ」という意味です。
問9	答え 3 風流や見た目よりも、実質的な利益や実用性を重んじること	「花より団子」は「風流や見た目よりも、実質的な利益や実用性を重んじること」という意味です。
問10	答え 2 塵	「塵も積もれば山となる」の「塵」の部分が入ります。意味は「わずかなものでも、おろそかにせず積み重ねれば大きなものになる」です。
問11	答え 2 返らず	「覆水盆に返らず」の続きは「返らず」です。意味は「一度起きてしまったことは、二度と元には戻らない」です。
問12	答え 3 一度あったことは二度、三度と繰り返されることが多いということ	「二度あることは三度ある」は「一度あったことは二度、三度と繰り返されることが多いということ」という意味です。
問13	答え 1 友	「類は友を呼ぶ」の「友」の部分が入ります。意味は「似た者同士は自然と集まりやすい」です。
問14	答え 4 蜂	「泣きつ面に蜂」の続きは「蜂」です。意味は「不運なことが重なって、さらに悪い状態になること」です。
問15	答え 4 実力のある人は、それをひけらかしたりしないこと	「能ある鷹は爪を隠す」は「実力のある人は、それをひけらかしたりしないこと」という意味です。
問16	答え 1 自分にとってためになる忠告は、聞くのがつらいものだ	「良薬は口に苦し」は「自分にとってためになる忠告は、聞くのがつらいものだ」という意味です。
問17	答え 4 どんなに小さく弱い者でも、それ相応の意地や考えがあるから侮ってはいけない	「一寸の虫にも五分の魂」は「どんなに小さく弱い者でも、それ相応の意地や考えがあるから侮ってはいけない」という意味です。